

豊川市立牛久保小学校のみなさん、ようこそ長岡へ！

長岡藩主・牧野家は、もともと三河国牛久保（みかわのくにうしくぼ、現在の愛知県豊川市）の地で勢力を持つ一族でした。

戦国時代に、徳川家の家臣として功績を挙げたことにより譜代大名となり、上野国大胡（こうすけのくにおおご、現在の群馬県前橋市）、越後国長峰（えちごのくにながみね、現在の新潟県上越市）を経て、1618年に長岡藩主となりました。



このたび、牧野家ゆかりの地である、愛知県豊川市から牛久保小学校の6年生の児童及び保護者のみなさんが地域学習の一環として長岡市を訪れました。

この日、長岡市郷土史料館を見学に訪れた子どもたちは、殿様のお出迎えに少々緊張気味の様子でした。

牛久保小学校の校章は、牧野家の家紋「三つ柏」の中に「牛」の字をあしらったものが使われています。

牧野家を象徴するシンボルには、家紋である「丸に三つ柏」の他にもう一つ「五間ばしご」があります。

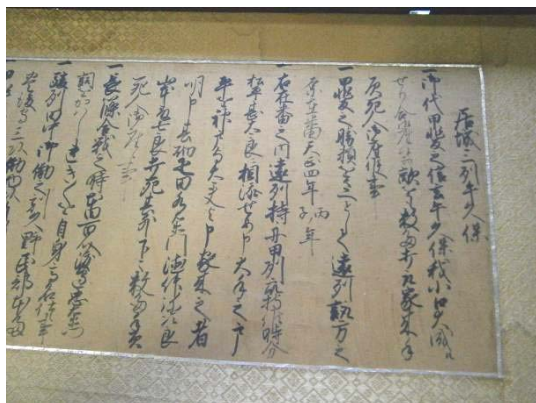
これは長岡藩の藩旗に使われた模様ですが、牧野家が牛久保にいた頃のエピソードからうまれた模様であるという説明を殿様から聞いた子どもたちは、とても驚いていました。



「三つ柏」



「五間ばしご」



郷土史料館にある「牧野右馬允忠成の康成系譜書」には、『牛久保』の文字が！！

これは、初代長岡藩主・忠成公が父・康成の略歴を書いたものです。

子どもたちは『牛久保』の文字を発見し大感激の様子でした。

名誉館長からひと言…

みなさま、長岡によくいらっしゃいました。今年は、初代長岡藩主忠成の祖父・成定公が牛久保で亡くなってから447年になります。10月20日には成定公の慰霊祭があり、私も牛久保に行きます。

これからも長岡と牛久保と仲良くしましょう。

長岡藩主牧野家第17代当主
牧野忠昌



牛久保小学校のみなさんと記念撮影

● 地域を越え、時代を越えた交流がこれからも末永く続きますように・・・ ●

(担当：長岡市立科学博物館)